

生分解性マルチの効果確認試験

JAめむろ

(有)鈴鹿農園



1.試験区 8月4日撮影



2.試験区 8月4日撮影



3.試験区 8月4日撮影



4.試験区 9月22日撮影



5.試験区 9月22日撮影

試験目的	生分解性マルチの効果確認試験		
試験作物及び品種	南瓜(くり将軍・ケント)		
試験資材及び数量(規格)	コーンマルチⅡ(0.015mm×125cm×200m) 10本 透明 有孔		
慣行資材	キ工丸		
栽培方法	播種日 5月31日～6月10日	収穫日 9月20日	【栽植密度】 畝幅：360cm 株間：60cm
資材使用期間	5月31日		試験区面積 7反

試験結果

- (1)作業性について(慣行品との比較)
慣行品と変わらず、問題なく展張することができた。
- (2)作物の生育状況または、収穫への影響
慣行品よりも薄いが、順調な生育だった。
- (3)資材の強度・耐久性・崩壊性について
分解速度がちょうど良いと感じた。
今回は鋤き込みをしなかったが、鋤き込んだとしても問題はなかったと思う。
来年は馬鈴薯を作付予定なので、改めて分解状況を確認したい。
- (4)保温効果について
特に差は感じられなかった。
- (5)雑草・病害虫の発生について
特に差は感じられなかった。

モニター感想

薄型マルチだが慣行品と同じように使用し、展張作業・生育ともに問題は見られなかった。
分解速度もちょうど良かったため、慣行品よりも安価であれば使用を考えたい。

JA担当者の感想(購買課 佐藤主査)

慣行品と変わらず使用できたとの試験結果となり、薄型でも実用性のあるマルチであった。
当農協は当用期の注文も多く、実用性のある銘柄は複数ラインナップしておきたいので、今後も様々な商品を検討していきたい。
コーンマルチⅡは慣行品よりも安価であるため、来年向けの取りまとめから推進していきたい。

今後の使用について

継続して使用したい。
慣行品よりも安価であれば使用を考えたい。

将来希望する資材について

加工が難しいのかもしれないが、長いもので生分解性マルチを使いたい。
同じ気持ちの生産者は多いと思う。

- 1 高温対策
- 2 害虫忌避効果
- 3 調光フィルム
- 4 3Dネット広帯
- 5 クリーンシート
- 6 マルチ
- 7 不織布
- 8 育苗資材
- 9 酪農資材
- 10 その他